

---

# So - Men

満月藍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

S o - M e n

### 【コード】

N 4 9 2 2 H

### 【作者名】

満月藍

### 【あらすじ】

一つのテーマにそって綴る、色んな形のラブストーリー。。。

## 頑固者

せみもうなだれる暑い暑い夏の日。  
八月上旬。

一日の中でおそらく、いや絶対に今が一番暑いであろうこの時間帯、私は田舎の坂道を登っていた。

その道には、木々達が私を挟むように並んでいるけど  
日陰なんてものはなく、ご丁寧に太陽さんの視線を、私の頭のとっぺんが  
独り占めできるほど遠慮がちに並んでいる。

目的地まであと4・5分つてとこか・・・

汗ばんで絡みつくような腕時計が妙に重たく感じ下を向きながら、  
少し熱くなった  
それを外そうと格闘していた。

汗のせいなのか、うまく外れてくれない。

その間も太陽は容赦なく微笑み、今度は下を向く私の首の後ろを焼き始めた。

ジリジリなんて音が聞こえてきそう、ついで言つとなんか焦げた匂いまで・・・

暑さでやられた私のおかしな思考にフッと鼻で笑った時  
降参した時計があっけなく手首から離れた。

スウスウした左の手首が私の熱をわずかに下げ、そのこち良さから  
テンポよく歩き出す。

なんせ田舎道だから、景色もさつきからかわらない。  
だけど、ゆらゆらと揺れている遠くの景色に、うっすらと一つの家が  
見えた。何もない景色にただそこに立つひとつの家。

私は立ち止まり、肩からぶらさげている仕事用のバックから一枚の  
紙を  
取り出した。

そこに書かれているのは、家主の名前と住所と大きくアップされた  
家の写真。

おそらく・・・

いや、絶対に間違いないだろう。

米谷権造宅は・・・。

用紙と実物を遠目から見比べた後、  
紙を再びバックに押し戻しまた歩いた。

さつきまで暑くて、忘れていたはずの緊張が蘇ってしまった。

そして余計な一言を思い出す。

「権造さんってすげー恐いらしいですよ・・・」

そう言った後輩の言葉と、それを聞いてすぐに目を逸らしたデスクの顔。

そう、私は、よつば講談社に所属している記者の一人。

デスクの言う事は絶対っ！！

そもそも、あまあゝく大事に育てられた一人娘の私。

なんとなあゝく入学して、いつのまゝにか卒業して、気づけば親のコネでここにいた。

余りにも、自由すぎマイペース過ぎる私を心配した父親が私をここに入社させた。

いや、元をただせばそんなふう育てたのはあなた達でしょう・・・  
なんて思ったが、

「お茶汲み程度だから」

と、そう言った父の言葉を鵜呑みにしてしまった私が甘かった。

お茶汲み程度で給料なんてもらえるはずもなく、そんなあまちゃんを待ち受けていたのは、身も心もそして顔までもが鬼の男デスクだった。

今にも潰れそうなよつば講談社に新人扱いなんてものはなく、社内にならずと吹き荒れている不景氣風を払うように鬼デスクは吠える。

「企画だ！企画を考えろ！」

「書け！とにかく何か書いてみる！」

「ばかやろうっ！！！！」

それは、新人だった頃の私にはただ無茶苦茶だったが、今までなんとなくそつなくこなし、誰からも叱られる事無く育った私にとって、とても新鮮だった。

出した企画をこてんぱんにボツられると、負けじと企画を出しまくる。

書いた原稿にけち付けられると、何日も徹夜し書き続けた。

私にもこんな一面があったのだと、自分で自分に驚いたけどそれに気づいた時には、ただ夢中で楽しかった。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4922h/>

---

So - Men

2011年1月28日07時51分発行